

## 第二次新潟市立図書館ビジョン 令和2年度実績 評価シート(南区)

図書館の基礎的数値		南区図書館の実績			
		指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1	資料購入費(千円)	決算額	7,753	7,470	6,936
2	蔵書冊数(単位:冊)	図書のみ	166,981	166,663	163,526
3	個人貸出人数(単位:人)	図書、雑誌、AV	51,865	50,132	39,825
4	個人貸出点数(単位:点)	図書、雑誌、AV	179,221	173,181	143,160
5	個人登録者数(単位:人)	有効期間は4年	6,483	6,251	5,856
6	(うち新規登録者数)(単位:人)	上記の内数	743	661	484
7	団体の貸出冊数(単位:冊)	図書、雑誌	11,506	11,394	7,594
8	入館者数(単位:人)	図書館のみ	144,939	140,519	106,492

ア 市民の生涯学習や課題解決を支援します。	指標	実績		目標	実績		南区の取組結果	外部評価欄	
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	令和3年度		段階評価	自由記述
施策① 多様な利用に応じた図書館サービスの提供  施策② 課題解決のためのレファレンスサービスの充実	予約件数  レファレンス受付件数	25,326件	25,456件	25,500件	25,090件	25,500件	予約件数は、目標には少し及びみせんでしたが、図書館利用自体が減少している中、微減に留まりました。新型コロナウイルス感染症対応で臨時休館や短時間利用の呼びかけを行ったこともあり、レファレンスの件数自体は減少しました。しかし、南区の歴史に関することや農業、料理など幅広い調査依頼があり、回答をしました。	3 大変評価できる 85.7% 2 ある程度評価する 14.3% 1 評価できない 0%	・予約件数が微減に留まったのは評価できる。(5名) ・コロナ禍の中予約利用の需要が大きかったことや、図書館のこれまでの取組みがあったことが要因だと思う。 ・レファレンス件数の減少もやむを得ないとする。 ・レファレンスについてはどのような内容に対応できるか知ってもらうことが必要。 ・図書館HPのレファレンスデータベースに、人気のある検索ワードやテーマ、レファレンス例があるとよい。
イ 特色ある地域づくりのために地域資料を収集・活用します。	指標	実績		目標	実績		南区の取組結果	外部評価欄	
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	令和3年度		段階評価	自由記述
施策① 地域資料(郷土資料・行政資料)の体系的な収集  施策② 地域の課題解決に役立つ資料の活用	郷土・行政資料の蔵書冊数  資料のテーマ展示回数	8,052冊	8,307冊	8,400冊	8,564冊	8,700冊	郷土資料については、パンフレット類も含め、白根・月潟ともに積極的に収集に努めました。展示については、休館期間があったため目標には達しませんでした。話題性や季節にあわせたテーマを心がけ、関連図書の貸出につなげました。市の他部署と連携した展示や、認知症、全館での新型コロナウイルス関連展示も行いました。	3 大変評価できる 57.1% 2 ある程度評価する 42.9% 1 評価できない 0%	・郷土資料の収集は図書館の大切な役割の一つ。積極的な収集の継続を望む。(2名) ・郷土の学習に図書館資料が大変役立っているようだ。伝統や歴史を深く学ぶために、多くの資料の収集に努めてほしい。 ・図書館が地域の財産を身近に感じられる場所となしてほしい。 ・南区図書館の展示はよく工夫されていると思う。 ・テーマ展示回数は遜色ない展示回数である(2名)。 ・テーマ展示本の貸出実績が分かると検証ができるのでは。
ウ 子どもの読書活動を推進します。	指標	実績		目標	実績		南区の取組結果	外部評価欄	
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	令和3年度		段階評価	自由記述
施策① 子どもの読書環境の整備  施策② 学校、保育園・幼稚園・こども園、公民館などとの連携と支援	児童書の貸出冊数(個人・団体)  子どもの読書推進に関わる職員派遣	53,098冊	52,001冊	52,000冊	40,137冊	40,200冊	児童書の貸出は、年々減少しています。令和2年度は、学校図書館支援センターが中央図書館に集約され学校への団体貸出が減少したことや新型コロナの影響により減少幅が大きかったと考えられます。職員の派遣は、子育てサロンなど事業の中止があったため大幅に減少しました。しかし年度後半には、保育園保護者への講座や中学校での職業講話などの依頼があり、職員を派遣しました。	3 大変評価できる 28.6% 2 ある程度評価する 71.4% 1 評価できない 0%	・令和2年度の児童書貸出冊数の大幅減は、支援センターの中央図書館への集約化により、やむを得ない。(2名) ・貸出減を児童書の購入冊数減少につなげないでほしい。 ・図書館ビジョンでは、目指す図書館像のウの中で職場体験の受入れを謳っているの、指標として学校・園からの受入れ人数を挙げてもよいのでは。 ・中学生の職場体験や職業講話の協力に感謝する。 ・事業の中止はやむを得ないが、読書推進の鍵となる保育園～小学校低学年への働きかけは継続してほしい。 ・子どもたちが授業でタブレットを使うようになったので、図書を自由に検索でき予約が身近になるような案内があるとよい。 ・本の入れ方がきつきつになっている書架があるので、もう少し余裕を持たせてほしい。
エ 市民参画と協働を推進します。	指標	実績		目標	実績		南区の取組結果	外部評価欄	
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	令和3年度		段階評価	自由記述
施策① 利用者・市民による図書館運営への参画  施策② ボランティアや教育機関・民間団体との連携協力	図書館協議会や利用者懇談会の開催  ボランティア参加のべ人数	図書館協議会を2回開催	図書館協議会を2回開催	図書館協議会を2回開催	図書館協議会を2回開催	図書館協議会を2回開催	白根図書館協議会を7月と12月に開催し、いただいた意見を図書館運営に活かすよう努めました。白根・月潟ともにボランティアと協力し図書館事業に取り組みましたが、臨時休館や事業の中止・縮小があったため、参加人数は目標に達しませんでした。	3 大変評価できる 42.9% 2 ある程度評価する 57.1% 1 評価できない 0%	・図書館協議会が着実に開催され、そこでの指摘・意見を事業に反映されていると考える。 ・ボランティア参加者減は、臨時休館や事業の中止・縮小により、ボランティアが活躍する機会そのものが減少している実態から、やむを得ないとする。(2名) ・十分な実績数だと思う。無理せず、できることを探しながら事業を計画してほしい。